



即日お届け列車便

2021年11月18日
東日本旅客鉄道株式会社
ジェイアールバス関東株式会社

「はこビュン」plus 高速バスを活用して即日最長距離の鮮魚輸送を実現！ ～新函館北斗駅から房総半島最南端の館山エリアへ～

- JR東日本グループでは、新たな輸送ビジネスの構築と地域の魅力発信・地域産品の流通拡大による地方創生を目指し、「はこビュン」を実施しています。
- このたび東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤 祐二、以下「JR東日本」）とジェイアールバス関東株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：中村 泰之、以下「JRバス関東」）は、11月26日（金）～12月4日（土）の期間にて、「はこビュン」とJRバス関東が運行する高速バス「なのはな号」が「はこビュン」plusとして連携することで、即日最長距離となる新幹線最北端の新函館北斗駅から館山エリアへの今朝どれの鮮魚を輸送します。
- 館山駅周辺の飲食店およびJR東日本ホテルズのホテルファミリーオ館山内レストラン「BUONO」に鮮魚をお届けし、さらなる地域の魅力発信とビジネスの拡大に取り組みます。
- JR東日本グループでは、モーダルシフトにも資する取組みとして、引き続き「はこビュン」および高速バスの連携を今後も進めていきます。

1. 概要

- (1)実施日 2021年11月26日（金）、11月29日（月）、12月2日（木）、12月4日（土）
- (2)新幹線 はやぶさ18号
新函館北斗駅発 9:35 → 東京駅着 14:04 （輸送距離：862.5km）
- (3)高速バス なのはな17号
東京駅発 14:20 → 館山駅着 16:18 （輸送距離：101.7km）
- (4)「はこビュン」plusとは
通常の「はこビュン」のサービスに加えて、高速バスなどの定期輸送の手段を合わせて商品を輸送します。今回は初めての取り組みであり、各地域での検証を重ねて今後本格的なサービスインを目指します。
- (5)輸送商品



おまかせ函館鮮魚セット



生きたまま届くホッキ貝

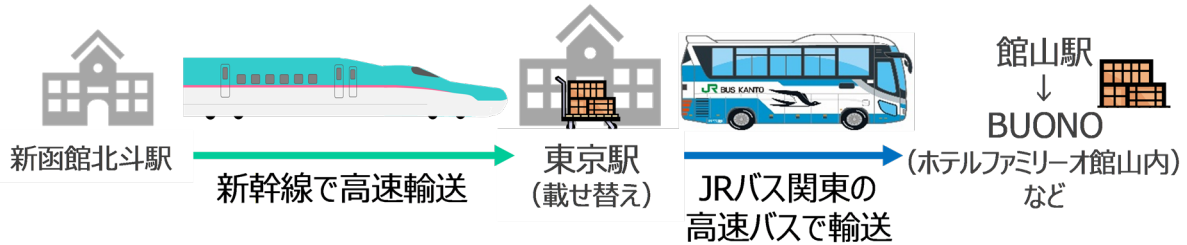


セット外魚種指定

※上記はサンプル輸送時の写真ですので、当日の輸送商品とは異なる場合があります。

<輸送イメージ>

ジェイアール東日本物流が新幹線および高速バスを
活用したモーダルシフト輸送全体をコーディネート



函館の今朝どれ鮮魚を梱包



東京駅にて鮮魚載せ替え



高速バス館山駅到着

2. ホテルファミリーオ館山「BUONO」での提供メニュー



鱈のピルピル (タラのオリーブオイル煮)
価格：748 円 (税込)



鮭のポキ丼
価格：1,298 円 (税込)



秋刀魚のコンフィ
価格：1,628 円 (税込)



鮭といくらのだリア
価格：2,398 円 (税込)
※限定 20 食

※入荷状況によりメニューが変更になる場合があります。

<参考>

JR 東日本と JR バス関東のモーダルシフトの取り組みについて

JR 東日本は、千葉房総地域において、これまでも“のってたのしい列車”として自転車をそのまま積み込めるサイクルトレイン B. B. BASE を運行し、地域の皆さまと連携して房総の魅力創出につながる列車と自転車の新しい旅の提案を行っております。JR バス関東の B. B. BASE バスとの組み合わせで、より広域的な回遊性を高める施策にも取り組んできたところです。

近年では、モーダルシフトの促進のため、新幹線や在来線特急列車を活用した荷物輸送を促進し、JR バス関東においても高速バスを活用した野菜輸送などを推進しており、今回、新幹線と高速バスの連携による鮮魚輸送を実施します。

2022 年 1 月以降は、南房総、館山の路線バスを活用して野菜、花き、鮮魚などの地域産品を輸送するサービスや、自転車ラック搭載バスの運行を拡大させ、列車との連携で、路線バス洲の崎線や南房州本線沿線にて地域産品の配送支援やサイクルツーリズムを促進する取り組みの実施を予定しています。



“のってたのしい列車” サイクルトレイン B. B. BASE & B. B. BASE バス

自転車ラック搭載バス